

## 1. 学校の教育目標

（学校の理念、教育目標）

- 1) 「共に生きる社会（共生社会）」を目指す、意欲ある感性豊かな保育者の育成
- 2) 保育者としてふさわしい能力（こころ・知識・技能）をもつスペシャリストの育成
- 3) 人間としての尊厳や社会のルール・マナーを大切にする保育者の育成

（指導方針）

- 1) 「社会から必要とされる人に」  
己を知り、伸ばし、生きがいの持てる仕事に
- 2) 「思いやりと気働きを」  
学んだ知識と技術を真の実力に
- 3) 「ひとはみんなのために、みんなはひとりのために One for all, All for one」  
協調と奉仕のところで実践を

## 2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画

（本年度の重点目標と達成計画）

1. ふるさと創生人材の育成と地域の連携強化
2. 就職に強い専門学校ブランド強化のための学習研究と開発
3. 教員及び学生の研究活動活性化と、研究成果を社会に発信

## 3. 評価項目の達成及び取組状況

（1）教育理念・目標

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	・学校の理念・目的・育成人材像は定められているか （専門分野の特性が明確になっているか）	④	3	2
・学校における職業教育の特色は何か	④	3	2	1
・社会経済のニーズ等を踏まえた学校の将来構想を抱いているか	④	3	2	1
・学校の理念・目的・育成人材像・特色・将来構想などが学生・保護者等に周知されているか	④	3	2	1
・各学科の教育目標・育成人材像は、学科等に対応する業界のニーズに向けて方向づけられているか	④	3	2	1

① 課題

こういったことは学生便覧に明記されているとともに、配布する本校ホームページ上で適宜配信を行うことにより周知を図っており問題ないと思われる。

② 今後の改善方策

引き続き力を入れていきたい。

③ 特記事項

今年度は、2件の外部研究助成金獲得があり、実務経験教員を中心に研究活動が活発に行われた。研究助成金により、模擬保育室を整え、遠隔機材も整えて連携園とのオンライン実習を試みたり、マスクによる保育活動への影響を調べる実験が行われたり、コロナ禍ならではの研究がすすめられ、多くの知見が得られた。研究成果は、研究紀要にて公開された。

(2) 学校運営

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・目的等に沿った運営方針が策定されているか	④	3	2	1
・運営方針に沿った事業計画が策定されているか	④	3	2	1
・運営組織や意思決定機能は、規則等において明確化されているか、有効に機能しているか	④	3	2	1
・人事、給与に関する規程等は整備されているか	④	3	2	1
・教務・財務等の組織整備など意思決定システムは整備されているか	④	3	2	1
・業界や地域社会等に対するコンプライアンス体制が整備されているか	④	3	2	1
・教育活動等に関する情報公開が適切になされているか	④	3	2	1
・情報システム化等による業務の効率化が図られているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(3) 教育活動

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・教育理念等に沿った教育課程の編成・実施方針等が策定されているか	④	3	2	1
・教育理念・育成人材像や業界のニーズを踏まえた学科の修業年限に対応した教育到達レベルや学習時間の確保は明確にされているか	④	3	2	1
・学科等のカリキュラムは体系的に編成されているか	④	3	2	1
・キャリア教育・実践的な職業教育の視点に立ったカリキュラムや教育方法の工夫・開発などが実施されているか	④	3	2	1
・関連分野の企業・関係施設等や業界団体等との連携により、カリキュラムの作成・見直し等が行われているか	④	3	2	1
・関連分野における実践的な職業教育(産学連携によるインターシップ、実技、実習等)が体系的に位置づけられているか	④	3	2	1
・授業評価の実施・評価体制はあるか	④	3	2	1
・職業教育に対する外部関係者からの評価を取り入れているか	④	3	2	1
・成績評価・単位認定、進級・卒業判定の基準は明確になっているか	④	3	2	1
・資格取得等に関する指導体制、カリキュラムの中での体系的な位置づけはあるか	④	3	2	1
・人材育成目標の達成に向け授業を行うことができる要件を備えた教員を確保しているか	④	3	2	1
・関連分野における業界等との連携において優れた教員(本務・兼務を含む)を確保するなどマネジメントが行われているか	④	3	2	1
・関連分野における先端的な知識・技能等を習得するための研修や教員の指導力育成など資質向上のための取組が行われているか	④	3	2	1
・職員の能力開発のための研修等が行われているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており、問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

#### (4) 学修成果

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・就職率の向上が図られているか	④	3	2	1
・資格取得率の向上が図られているか	④	3	2	1
・退学率の低減が図られているか	④	3	2	1
・卒業生・在校生の社会的な活躍及び評価を把握しているか	4	③	2	1
・卒業後のキャリア形成への効果を把握し学校の教育活動の改善に活用されているか	④	3	2	1

#### ① 課題

全ての卒業生の状況を把握できる状況にはない。

#### ② 今後の改善方策

上述の課題は、個人情報保護の観点から難しいところがあり、具体的な対策はたてられていない。今後はホームページを充実させ卒業生も情報を得たり集まったりできるような場をつくるようにしていく予定である。

#### ③ 特記事項

なし

#### (5) 学生支援

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・進路・就職に関する支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生相談に関する体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生に対する経済的な支援体制は整備されているか	④	3	2	1
・学生の健康管理を担う組織体制はあるか	④	3	2	1
・課外活動に対する支援体制は整備されているか	④	3	2	1

・学生の生活環境への支援は行われているか	④	3	2	1
・保護者と適切に連携しているか	④	3	2	1
・卒業生への支援体制はあるか	④	3	2	1
・社会人のニーズを踏まえた教育環境が整備されているか	④	3	2	1
・高校・高等専修学校等との連携によるキャリア教育・職業教育の取組が行われているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(6) 教育環境

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・施設・設備は、教育上の必要性に十分対応できるよう整備されているか	④	3	2	1
・学内外の実習施設、インターンシップ、海外研修等について十分な教育体制を整備しているか	④	3	2	1
・防災に体制は整備されているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(7) 学生の受け入れ募集

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・学生募集活動は、適正に行われているか	④	3	2	1
・学生募集活動において、教育成果は正確に伝えられているか	④	3	2	1
・学納金は妥当のものとなっているか	④	3	2	1

① 課題

今年度から入試アドバイザーを迎えることによりきめ細やかに入試情報を伝えることができています

② 今後の改善方策

ホームページを改正し、本校の教育内容をより分かりやすく発信していく方針である

③ 特記事項

なし

(8) 財務

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・中長期的に学校の財務基盤は安定しているといえるか	④	3	2	1
・予算・収支計画は有効かつ妥当なものとなっているか	④	3	2	1
・財務について会計監査が適正に行われているか	④	3	2	1
・財務情報公開の体制整備はできているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(9) 法令等の遵守

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・法令、専修学校設置基準等の遵守と適正な運営がされているか	④	3	2	1
・個人情報に関し、その保護のための対策がとられているか	④	3	2	1
・自己評価の実施と問題点の改善を行っているか	④	3	2	1
・自己評価結果を公開しているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(10) 社会貢献・地域貢献

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
・学校の教育資源や施設を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	④	3	2	1
・学生のボランティア活動を奨励、支援しているか	④	3	2	1
・地域に対する公開講座・教育訓練(公共職業訓練等を含む)の受託等を積極的に実施しているか	④	3	2	1

① 課題

全て適正に行われており問題はない。

② 今後の改善方策

③ 特記事項

なし

(11) 国際交流（必要に応じて）

評価項目	適切…4、ほぼ適切…3 やや不適切…2、不適切…1			
	・留学生の受入れ・派遣について戦略を持って行っているか	4	3	2
・留学生の受入れ・派遣、在籍管理等において適切な手続きがとられているか	4	3	2	1
・留学生の学修・生活指導等について学内に適切な体制が整備されているか	4	3	2	1
・学習成果が国内外で評価される取組を行っているか	4	3	2	1

① 課題

そういった要請がないため対応していない。

② 今後の改善方策

要望があれば対応を考えたい。

③ 特記事項

なし

#### 4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

本校の従来からの教育目標及び今年度の目標はおおむね達成できたと考えられる。

地域との連携強化においては、コロナ禍であることから学園祭など地域住民との交流や、招待を行っての発表会などが制限された。しかし、連携する幼稚園や保育園との共同企画を、オンラインをとりいれながら推し進めることができたのは大きな成果である。

昨年度から続くコロナ禍対策のため、オンラインによる授業体制が整った。基本、対面と遠隔の2元授業を実施し、学生は、状況に応じてどちらかの形態を選ぶことができるようにした。ワクチン接種を含め、学生が対面授業を受けられないことによる不利益がないような最大限の環境を提供できた。これは、本校以外では実施が困難なことであり、本校の評価が高まった。

教員の研究活動は、前述のとおり2件の外部研究助成金獲得があり、実務経験教員を活発に行われた。研究助成金により、模擬保育室を整え、遠隔機材も整えて連携園とのオンライン保育実習を試みたり、マスクによる保育活動への影響を調べる実験が行われたり、コロナ禍ならではの研究がすすめられ、多くの知見が得られた。研究成果は、研究紀要にて公開された。

今後も、教育活動・研究活動ともに充実させていきたい。